

人間福祉研究第 15 号発刊にあたって

木村 敦子
Atsuko Kimura

広島文教女子大学に人間福祉学科が開設されて 17 年が経ち、平成 29 年 4 月には第 18 期の新生を迎えます。

時折耳にする卒業生の様子等に鑑みると、これまで本学科が積み重ねてきた歴史の重みと責任を実感するようになり、身が引き締まる思いです。

今年度は平成 28 年 10 月 1 日（土）に本学にて人間福祉学会を開催しました。「学び続けること、実践を振り返ることの意義を問う」というテーマで、卒業生 3 名による研究発表、卒業生・在校生によるシンポジウムを行いました。

第一部では卒業生 3 名に、職場の実践や研究発表大会等においてこれまで発表した内容を、本学会のために再構成し、報告していただきました。第二部では、在校生の代表 4 名が登壇し、卒業生 3 名とシンポジウムを行いました。参加した在校生にとっては、就職後の社会人となった自分の姿を具体的な形で思い描くきっかけを得る貴重な時間となりました。また、参加した卒業生にとっても、学生に伝えるという機会が、より自らを向上させ、励ますきっかけとなりました。是非卒業生の皆様もこのような学会の機会を活用し、自己研鑽のきっかけとしていただければと思っています。本誌で何度かお知らせしましたが、島根県出身の卒業生が、世代を超えて積極的に活動して下さっています。「私たちも」と思われる方は、是非ご相談下さい。

社会福祉士はもちろん、精神保健福祉士や介護福祉士、保育士などすべての実習現場で卒業生の皆さんにお目にかかることも多くな

りました。中には、実習指導者をお願いしている卒業生もいらっしゃいます。また、職場をかわられ、思わぬ場所でばったり出会うことも少なくありません。同じ学科で学んだ先輩が、現場で実習指導にあたる…これが実習生にとってどれだけ心の支えになることでしょうか。皆様が本学科での学びを誇りとし、業務にあたられている姿に励まされています。今後も絶えることなく、このような良い流れが引き継がれていくことと思います。これからも互いに支えあい寄り添いあいながら、福祉の学びの道とともに歩んでいきたいと考えています。変わらずご協力の程よろしく願います。

本号より、人間福祉研究を電子ジャーナルとして、新しく立ち上げた人間福祉学会のホームページを通してご覧いただくことになりました。ホームページでは、人間福祉学会のお知らせや国家試験対策に関するご案内など、卒業生の皆様へ向けたいお知らせを中心とします。是非ご充実させていく予定です。是非ご覧いただくとともに、忌憚りの無いご意見をお寄せ下さい。

ホームページの開設により、皆様との相互のやりとりがより活発になるのではないのでしょうか。本学会が学生や卒業生、教員の皆さまにとって、安心できる「心のよりどころ」としてますます充実するよう努めて参ります。皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。